

豊前市役所庁舎・議会棟耐震改修工事について

令和３年度に豊前市役所庁舎・議会棟の耐震改修工事を実施した結果、下記のとおり耐震性が向上しました。

区 分	階 数	構造耐震指標（I s 値） 目標値 0.75	
		改修前	改修後
庁舎棟	3階	0.25	0.78
	2階	0.23	0.78
	1階	0.22	0.76
	地階	0.20	0.757
議会棟	2階	0.82	0.91
	1階	0.39	0.81

※構造耐震指標（I s 値）

建物の耐震性能は、I s 値（構造耐震指標）で表します。この I s 値は、地震に対する建物の強度や靱性（変形能力、粘り強さ）、建物の形状バランス、劣化状況などから算出します。

I s 値が大きいほど耐震性能が高いとされており、以下の耐震性能判定で分類されます。一般的には、震度６強～７程度の規模の大地震発生時に安全であると考えられているレベルが 0.6 以上に設定されています。

- ・ $I_s \geq 0.6$ ：地震の振動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する危険性が低い
- ・ $0.6 > I_s \geq 0.3$ ：地震の振動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する危険性がある
- ・ $0.3 > I_s$ ：地震の振動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する危険性が高い

※目標値（I s 値：0.75以上）

国土交通省「官庁施設の総合耐震計画基準」の２類の値を採用しています。

・ 目標

大地震後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られている

・ 対象施設

災害応急対策活動に必要な建築物及び多数の者が利用する建築物